

令和6年度 施策・基本事業マネジメントシート（令和5年度実績に基づく評価）				作成日 令和 6 年 7 月 30 日		
政策体系	基本目標名	7	市民参加による自立したまちづくり		施策主管課長	広報ブランド推進課
	政 策 名	2	多彩な交流と情報活用によるまちづくり			
	施 策 名	2	市政情報の共有と広聴活動の充実			
施策関係課	政策調整課、行政経営課、市民生活課					小関 満

1. 施策の目的と成果把握

施策の目的 「対 象」	この施策は、誰、何を対象としているか	対象指標		単位	R4	R5	R6	R7	成果指標 設定の考え方	①市民との情報共有は、アンケート調査に表れると考え、指標として採用した。 ②市民からの意見聴取を積極的に行い、適切に市政に反映させることは、アンケート調査に表れると考え、指標として採用した。	
	①市民	①	市人口	人	115,700	114,695					
		②									
		③									
		④									
施策の目的 「意 図」	この施策によって、「対象」をどういう状態にするのか	成果指標(意図の達成度を表す指標)		区分	単位	R4	R5	R6	R7	成果指標の 取得方法	① 市政に関するアンケート調査 ② 市政に関するアンケート調査 ③ ④
	①行政情報を市民と共有する。 ②意見聴取を通じ、市民の行政への参画を促進する。	①	市政情報が十分に提供されていると認識している市民の割合	目標	%	72.0	77.0	82.0	86.0		
				実績		69.6	68.1				
		②	広聴活動が十分にされていると思う市民の割合	目標	%	28.0	36.0	44.0	50.0		
				実績		38.0	35.2				
		③		目標							
				実績							
		④		目標							
				実績							

2. 基本事業の目的と成果把握

基本事業名	対象	意図	成果指標		区分	単位	R4	R5	R6	R7	基本事業名	対象	意図	成果指標		区分	単位	R4	R5	R6	R7		
広報活動 の充実	①市民	①市政への理解や 関心を深めてもら う。	①	広報さのを読んでいる 市民の割合	目標	%	78.0	79.0	80.0	92.0	広聴活動 の充実	①市民	①市民の意見を市 へ届くようにする。	①	市政懇談会1回当 たりの参加者数(単 年度)	目標	人	100.0	105.0	110.0	115.0		
					実績		71.6	74.7									実績		27.0	68.7			
			②	ホームページの ページ別閲覧総数 (単年度)	目標	件	5,000,000	5,100,000	5,200,000	5,300,000								目標	人	1,200	1,200	1,200	1,200
					実績		6,569,064.0	5,182,455									実績		1,019	1,040			
			③	市政情報発信用S NS登録者数 (単年度)	目標	人	30,000	31,000	32,000	32,000								目標	人	12.0	13.0	14.0	15.0
					実績		36,791	38,178							実績		3.8	1.4					
			④		目標									④		目標							
					実績											実績							
			①		目標											目標							
					実績											実績							
			②		目標											目標							
					実績											実績							
			③		目標											目標							
					実績											実績							
			④		目標											目標							
					実績											実績							

3. 施策の目標達成度評価

令和5年度施策の取組方針		施策の取組方針・成果指標達成状況	
施策	取組方針	☐ 全て達成	【施策の取組方針達成状況】 ・広報さののレイアウト、デザイン、ロゴ、色合いなど全面的に刷新したが、多くの市民に読んでもらえるよう、紙面の見直しを継続して行った。また、特集については、市民の興味を喚起するテーマを選定したり、文字と画像等のバランスに配慮し、読みやすさを追求するなど記事の充実を図った。(広報紙発行事業) ・市ホームページについては、利用しやすさ、掲載内容の更新など、適切な運用を行った。SNSでは有益な情報を迅速に発信した。(市政情報発信事業) ・市政に関するアンケートのweb回答については、設問の内容や量に対するアンケートフォームの適合性について確認した。パブリックコメントについては、Webによる意見聴取を継続して行っている。また、若者からの意見聴取のため、佐野日本大学短期大学において、学生を対象とした市政懇談会を開催した。(広聴活動：0円事業)
		☒ 一部未達成	
		☐ 全て未達成	
	成果指標	☐ 全て達成	【施策・基本事業の成果指標達成状況】 ○施策成果指標 市政情報が十分に提供されていると認識している市民の割合は、様々な広報活動を行ってきたが、68.1%で、目標の77.0%を達成できなかった。 ・広聴活動が十分にされていると思う市民の割合は、市政懇談会、市政に関するアンケート、佐野市へ一言などの取組を行ってきたが、35.2%と目標の36.0%を達成できなかった。 ○基本事業の成果指標 ・広報活動の充実 レイアウト、デザイン、ロゴ、色合いなど全面的に刷新し、読みやすさを向上させたが、広報さのを読んでいる市民の割合は74.7%となり、目標の79.0%を達成できなかった。(広報紙発行事業) 市政情報発信用SNS、「X」、「Facebook」及び「LINE」の総登録者数は、38,178人となり、目標の31,000人を上回ることができた。(市政情報発信事業) ・広聴活動の充実 市政懇談会1回当たりの参加者数は、68.7人で、目標の105人を達成できなかった。20代から40代といった若者世代の参加者が少ないことが要因であると捉えている。(広聴活動)
☒ 一部未達成			
☐ 全て未達成			

4. 施策の基本情報

施策の基本情報	社会情勢変化、国・県の動向、市民・議会意見等	施策の成果向上に向けての役割分担		
		市民	事業所	行政
	・マイナンバー制度により、マイナポータルで自己情報開示や行政機関からのお知らせ、参考情報の入手、電子申請、公金決済などが可能になる。 ・災害や感染症等の対応について、SNS等を活用し即時性のある情報発信力が求められている。 ・ICT技術を活用した情報発信が日常生活や経済活動の維持にますます不可欠となった。 ・若年層においては、WebやSNSによる情報発信及び情報の取得が増加している。 ・広報業務にChatGPTなどのAIを活用する事例が増加している。 ・多くの自治体において、まちづくりや地域活動に若者の参画が低調である。 ・市政懇談会への20～40歳代の参加が少ない。	・各種媒体を通じ、市政情報の収集に努める。 ・広報紙等の配布に協力する。 ・緊急時に備え、普段から必要情報の収集に努める。 ・広聴事業に参画する。	・自治の推進に協力するよう努める。 ・広報紙等の配布業務を請け負う。 ・利用しやすい情報通信サービスを提供する。 ・事業所内の情報化を促進させる。	・行政情報の迅速かつ分かりやすい提供に努める。 ・広聴活動を通じ、幅広い世代の多くの市民が市政参画できるよう努める。

5. 施策全体の総括・今後の課題・今後の方向性

施策の成果実績と施策の基本情報及び施策コストに関する全体総括		今後の課題	今後の方向性
【広報活動の充実】 ・令和4年度から準備を進めてきた広報さのを全面リニューアルし、令和5年4月号から配布した。成果指標となる広報さのを読んでいる市民の割合が目標を達成できなかったため、要因を検証する必要がある。 ・広報広聴主任者会議を実施し、定例記者会見やホームページにおいて各課の行事や取組などの情報提供を積極的に行うよう促した。ホームページのページ別閲覧総数の目標は達成したが前年度比では減少しているため、効果的発信に努める必要がある。 ・SNSによる情報発信手段としてX(旧ツイッター)、Facebook、LINEを活用し、市政情報の速やかな発信に努めた。成果目標の市政情報発信用SNS登録者数は目標を達成したが、その要因を分析し、生かす必要がある。 【広聴活動の充実】 ・市政懇談会を町会長連合会と連携し、地区別懇談会として5か所所で実施した。また、若者を対象とした懇談会として、佐野日本大学短期大学において実施した。計6回の開催となり、412人が参加した。 ・市政に関するアンケートについては、2,000人の市民に質問票を送付し、1,040人の回答があった。 ・佐野市へ一言では、211件の投書があった。 ・パブリックコメントは8の案件に対し、計11件の意見が寄せられた。 ・市政懇談会の参加者数など、成果指標が目標を下回っているため、引き続き改善に取り組む必要がある。 【施策全体のコスト】 ・令和5年度の決算額は、31,333千円となり、令和4年度の決算額25,791千円と比較し、5,542千円の増となった。 ・決算額の対前年比増の主な要因は、周期委託統計調査実施事業費の2,966千円の増、広報紙発行事業の2,409千円の増によるもの。		【令和6年度で解決する課題】 ・20～40歳代と建設的な議論が行える懇談会の内容の考案 【令和7年度以降にも引き継がれる課題】 ①誰もが読みたいと思える広報紙の発行 ②ホームページやSNSにおける迅速で正確な情報の発信 ③ホームページやSNSの分析と活用 ④市政アンケート、佐野市へ一言、パブリックコメントでの意見数の増加 【令和7年度重点課題】 ⑤市政懇談会への20～40歳代の参加者の増加	①幅広い世代から読んでもらえる特集のテーマを選定することで、広報紙の魅力度向上・閲読率の向上を図る。 ②情報発信力を強化するとともに、迅速で正確な情報の発信ができる方策や体制を検討する。 ③ホームページやSNSの分析を行うことで、効果的かつ有効な情報発信につなげる。 ④市政アンケート、佐野市へ一言、パブリックコメントの取組について市内向けの周知を強化する。 ⑤20～40歳代が集まる場への訪問型の懇談会の開催について検討する。